

2003 年度 委員会活動成果報告

(0 3 年 3 月 1 0 日 作 成)

委員会名	湿気WG	主 査 名：池田哲朗
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 熱環境小委員会	主 査 名：吉田治典
設 置 期 間	2 0 0 3 年 4 月 ~ 2 0 0 5 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>建築環境における湿気・水分の存在と移動に関連する事象を対象とした、実験ならびに計算による評価研究の体系化と情報交換を行うことを目的とする。</p> <p>湿気に関わる問題について、昨年は SWG を一つ立ち上げたが、さらに SWG の設置について積極的に開催するよう検討してゆく。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	池田哲朗(近畿大) 銚井修一(京都大) 水谷章夫(名工大) 岩前 篤(近畿大) 大澤徹夫(岐阜高専) 小椋大輔(神戸大) 佐藤真奈美(大工大) 鈴木大隆(北海道) 谷本 潤(九州大) 土川忠浩(姫工大) 松本 衛(大産大) 水畑雅之(広国大)	
設置 WG (WG 名：目的)	熱湿気物性アカデミックスタンダード SWG：熱水分同時移動過程の定量的評価に必要な物性値の測定法を整理、アカスタ化を検討した。 熱物質移動数理モデル検討 SWG：熱物質移動に関する様々な数理モデルと事象の整理	
2003 年度予算	180,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	メールによる意見交換によった。
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>2 0 0 3 年度で終了する SWG の処理と、2 0 0 4 年度から新たに立ち上げる新規 SWG について審議した。</p> <p>アカスタ SWG については、SWG による原案の作成、これに基づくシンポジウムの開催とパブリックコメントの収集、これらを参考とした原案の修正を経て、出版 WG への移行を果たした。</p> <p>モデル検討 SWG については、国内で用いられている熱水分同時移動モデルの整理と、適用事例の整理を行った。</p> <p>新規 SWG の設置については、今後の建築が抱える問題を中心にテーマを選定し、調湿性、健康性、耐久性、評価手法に関連する 4 つの SWG を立ち上げることを決定した。</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初の計画通りの進展と、予想通りの成果である。</p>
その他評価すべき事項	2 0 0 5 年度の熱シンポジウム開催に向けて、各 SWG の活動を活発にしていく。